

● 充電用コンセント（200V・100V）について

普通充電用のコンセントには200Vと100Vの二種類があります。

200Vコンセントを新設する場合は、下記新型コンセント（タイプB）を選定してください。

※200Vコンセントにおいては、電気自動車の車種によって、対応できるコンセントの形状が異なりますのでご注意ください。

2010年9月以前に発売された電気自動車では、下記従来型コンセント（タイプA）の差込プラグを採用している車種があります。従来型コンセント（タイプA）の差込プラグを持つ車種であっても、自動車販売店等にて新型コンセント（タイプB）に対応するケーブルセットを入手できる場合には、互換性・操作性の観点から新型コンセント（タイプB）を施設することが望まれます。新型コンセント（タイプB）に対応できない車種の場合には、従来型コンセント（タイプA）を施設する必要があります。

※写真は一例	新型コンセント（タイプB）		従来型コンセント（タイプA）	
200V用		JWDS0033		JIS C 8303 附属書A.25
		250V 20A		250V 20A
				
		単相200V 20A回路用 プラグ係止ロック機構		単相200V 20A回路用 回転ロック機構
脱落防止				

100Vコンセントについては、新設する場合は、下図平刃型を選定してください。主に既存のコンセントに見られる抜止型コンセントの利用については、次ページのコラム1「既存の100Vコンセントの利用について」をご参照ください。

※写真は一例	平刃型コンセント	
100V用		JWDS0033
		125V 15A
		
		単相100V用 プラグ係止ロック機構
脱落防止		

コラム1 既存の100Vコンセントの利用について

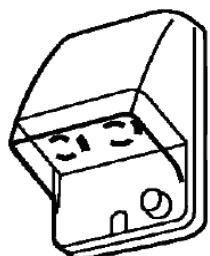
戸建住宅等において下図①のような抜止型のコンセントが駐車場近くに既に設置されている場合があります。しかしながら、当該コンセントは、専用回路ではなく、一般回路に接続されていることが通例です。このような一般回路のコンセントで充電を行うと、電気自動車の充電を行うには容量が不足している場合には、ブレーカが作動し、同一回路の複数コンセントや照明があわせて停電となることから注意が必要です。

※一般回路と専用回路については、下図参照。

また、抜止型の防雨型100Vコンセントは、主として、屋外設置される庭園灯・看板灯や、屋外で使用される電動工具への給電などを意図して設置されたものであり、頻繁な抜き差し使用を行う電気自動車の充電用としては耐久性が充分でない場合があります。こうしたコンセントを充電用に使用し続けると、大電流通電時に著しく温度上昇し、危険な状態になる場合があります。注意が必要です。

なお、下図②のような接地極（アース刃受）が付いていないコンセントは、万一の漏電の際に人体を感電から護る仕組みが働かないため、電気自動車の充電には使用できません。

①抜止型コンセント

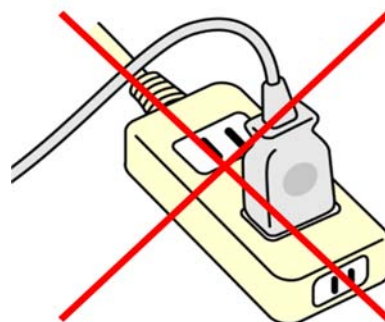


コンセント形状



抜止型 15A
JIS C8303
付属書 A.17

②接地（アース）極が付いていないコンセント



※一般回路と専用回路

